

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

| | | | | | |
|-----------|-------------|------|-----|-------|---|
| 企業・組合名 | 役職 | 氏名 | 所在地 | 主たる事業 | ホームページ |
| キューピー株式会社 | 代表取締役社長執行役員 | 長南 収 | 東京都 | 製造業 | https://www.kewpie.co.jp/ |

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

| | |
|-------|-----------|
| 最終更新: | 2020年5月7日 |
|-------|-----------|

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

| No. | 分類番号 | 取組項目 | 取組内容 |
|-----|------|---|--|
| 1 | A ① | 物流の改善提案と協力 | ・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案、改善を実施します。 |
| 2 | A ⑩ | リードタイムの延長 | ・大変厳しく深刻化する物流環境下、お届けできない多大なご迷惑をかけないようにお得意先様のご理解をいただき、また物流事業者の作業緩和、ドライバー確保等を目的に、リードタイム延長をまずは繁忙期に実施し、恒久化の検討を行います。 |
| 3 | A ⑭ | 船舶や鉄道へのモーダルシフト | ・長距離輸送について、トラックからフェリー、RORO船や鉄道の利用への転換を積極的に行います。更に異業種とも積極的に協働し、新たな共同輸送を取り組んでまいります。 |
| 4 | B ③ | 燃料サーチャージの導入 | ・物流事業者と燃料サーチャージについては、既に導入済ですが、更に原単位を設け、定期的に基準の見直しを協議の上、検討、実施してまいります。 |
| 5 | F ① | 独自の取組:発荷主からの入出荷日付情報の事前提供による荷捌き、検品作業の効率化 | ・リードタイム延長を実施することで、荷受作業(検品等)の効率化に向け、お届け先に出荷商品の日付情報を事前に提供できる体制づくりを目指します。待機や車両回転率の向上、ドライバーの労働時間抑制等に繋がってまいります。 |
| 6 | F ② | パレット、面単位の輸送と小口配送の削減、大口配送の促進を実施 | ・パレットまたはパレットの面単位を中心に輸送指示を行うことで、物流事業者の荷役作業の低減を図ります。 ・小口配送の削減、大口配送の促進を積極的にお得意先様にお願いし、配送の効率化、ドライバーの労働時間抑制に繋がってまいります。 |
| 追加1 | D ② | 異常気象時等の運行の中止・中断等 | ・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。 |
| 追加2 | F ③ | 業界の標準化を推進 | ・積極的に加工食品業界の商慣行の見直しを行い、関係省庁に協力し、業界の標準化を目指します。 (19年取組項目以外で) ・DFL(カートン設計及び表記ルール、賞味期限の年月表示化、ASNを活用した伝票電子化などを業界と連携し推進。 |

PR欄

・積極的に加工食品業界の商慣行の見直しを行い、関係省庁に協力し、業界の標準化を目指します(配送リードタイム、検品の効率化、鮮度基準)。特に検品の効率化(日付情報を活用した)については、年内にテスト運用が実施し、荷受けの業務省力化、ドライバーの納品作業時間(待機含む)の時短策に繋がってまいります。
・賞味日付の年月表示を積極的に実施、拡大し、日付管理の緩和に繋げ、荷受けの業務省力化、保管効率の向上を進めます。